



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 原 良太郎 TEL 042-750-8588
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	52,934	9.0	1,059	7.6	1,268	3.6	705	△23.5
2023年5月期第2四半期	48,568	13.5	984	184.8	1,224	84.8	921	101.6

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 893百万円 (△24.9%) 2023年5月期第2四半期 1,188百万円 (163.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	35.69	—
2023年5月期第2四半期	46.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第2四半期	53,295	19,464	36.0
2023年5月期	50,213	19,057	37.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 19,191百万円 2023年5月期 18,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	4.1	2,600	0.8	3,000	△1.3	1,600	△42.2	80.94

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2 当社は、2023年10月20日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行っております。2024年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	20,547,413株	2023年5月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	777,239株	2023年5月期	783,239株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	19,765,551株	2023年5月期2Q	19,759,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) キャッシュ・フローに関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、経営理念に基づく当社グループの事業活動を示すミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、リユースのリーディングカンパニーとして循環型社会の形成に貢献するとともに、全従業員が自信と情熱を持ち、安心して働き、成長できる会社になることを目指します。

当社グループは2028年5月期を最終年度とする中期経営方針において、グループの強みである人財育成やサステナビリティへの取り組みなどの普遍的な価値を土台とし、「深化領域」と位置付ける国内ブックオフ事業で、認知度の高さを活用して安定した収益を獲得するとともに、「探索領域」と位置付けるプレミアムサービス事業、海外事業や新たな事業に対して投資原資・ノウハウを投入し、経験豊富な人財の輩出によりグループの事業規模拡大と利益成長を進めていくことを定めました。

当第2四半期連結累計期間においては、各事業において売上高が前年同期を上回り、売上高52,934百万円（前年同期比9.0%増）となりました。経常利益は、全社コストの増加はあるものの、国内ブックオフ事業や海外事業において増益となったことにより、当第2四半期経常利益は1,268百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

前期第1四半期における特殊要素（グループ再編に伴う税負担軽減）の剥落により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を下回りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(国内ブックオフ事業)

当第2四半期連結累計期間において、BOOKOFF PLUS 2店舗（ヨシヅヤ新稲沢店、日立駅前店）、BOOKOFF 5店舗（DCM上磯店、武蔵小金井店、イオン橋本店、イオンモール大牟田店、イトーヨーカドー溝ノ口店）、あそびバ2店舗（イオンモール草津店、イオンモール鈴鹿店）を出店しました。

直営既存店においてトレーディングカード・ホビーやアパレル、貴金属・時計・ブランドバッグ、家電・携帯電話などの売上高が前年同期を上回ったことで、当第2四半期連結累計売上高46,793百万円（前年同期比7.8%増）となり、セグメント利益1,735百万円（前年同期比21.1%増）となりました。

(プレミアムサービス事業)

「BOOKOFF 総合買取窓口」などの仕入高が前年同期を上回ったことなどにより、当第2四半期連結累計売上高3,346百万円（前年同期比14.6%増）となりました。一方で、貴金属相場の高騰により貴金属類の販売構成比が高まり粗利率が低下したことや、事業成長に向けた人員拡充を進めたことなどにより、セグメント利益229百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

(海外事業)

アメリカ合衆国内の「BOOKOFF」、マレーシア国内の「Jalan Jalan Japan」それぞれにおいて過年度の出店が寄与し、売上高が前年同期を上回ったことで、当第2四半期連結累計売上高2,249百万円（前年同期比17.0%増）、人員拡充や待遇改善等を行いつつも、セグメント利益408百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,072百万円増加し、6,616百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は220百万円（前年同期は861百万円減少）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,223百万円、減価償却費814百万円等により資金が増加した一方、棚卸資産の増加額1,328百万円、売上債権の増加額216百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は1,269百万円（前年同期は2,147百万円減少）となりました。これは、新規出店、既存店リニューアルや譲受等に伴う有形固定資産の取得による支出927百万円、システムへの追加投資等に伴う無形固定資産の取得による支出215百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は2,068百万円（前年同期は1,919百万円増加）となりました。これは、配当金の支払額494百万円、リース債務の返済による支出273百万円により資金が減少した一方、借入金の純増額2,835百万円により資金が増加したことが主な要因です。

(3) 財政状態に関する説明

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は31,530百万円（前連結会計年度末は29,112百万円）となり、2,417百万円増加しました。トレーディングカード・ホビーなどの積極展開や新規出店等により商品が1,365百万円、店舗設備やIT投資等を実施するための資金として現金及び預金が1,072百万円増加したことが主な要因です。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は21,764百万円（前連結会計年度末は21,101百万円）となり、663百万円増加しました。店舗設備等へ積極的な投資等を実施したことにより有形固定資産が586百万円、ソフトウェア開発等により無形固定資産が66百万円増加したことが主な要因です。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は33,830百万円（前連結会計年度末は31,155百万円）となり、2,675百万円増加しました。店舗設備やIT投資等の資金需要に対し銀行借入で対応したため借入金が増加したことが主な要因です。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は19,464百万円（前連結会計年度末は19,057百万円）となり、406百万円増加しました。剰余金の配当を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、為替換算調整勘定が増加したことが主な要因です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月10日に発表しました公表数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,544	6,616
売掛金	3,008	3,225
商品	17,612	18,977
その他	2,948	2,711
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,112	31,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,658	4,704
リース資産（純額）	2,703	2,970
その他（純額）	1,490	1,763
有形固定資産合計	8,852	9,438
無形固定資産		
ソフトウェア	382	2,365
ソフトウェア仮勘定	1,998	100
その他	63	44
無形固定資産合計	2,443	2,510
投資その他の資産		
差入保証金	7,296	7,336
その他	2,569	2,540
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,804	9,815
固定資産合計	21,101	21,764
資産合計	50,213	53,295

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	814	898
短期借入金	6,383	8,910
1年内返済予定の長期借入金	3,347	4,346
リース債務	654	695
未払法人税等	340	496
賞与引当金	644	605
店舗等閉鎖損失引当金	11	8
その他の引当金	189	136
その他	5,559	4,962
流動負債合計	17,945	21,057
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	7,341	6,651
資産除去債務	2,450	2,485
リース債務	2,191	2,418
その他	226	217
固定負債合計	13,210	12,773
負債合計	31,155	33,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,860	6,863
利益剰余金	12,322	12,534
自己株式	△591	△587
株主資本合計	18,691	18,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	74
為替換算調整勘定	109	207
その他の包括利益累計額合計	167	281
非支配株主持分	198	272
純資産合計	19,057	19,464
負債純資産合計	50,213	53,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	48,568	52,934
売上原価	20,756	22,956
売上総利益	27,811	29,978
販売費及び一般管理費	26,827	28,919
営業利益	984	1,059
営業外収益		
自動販売機等設置料収入	67	64
古紙等リサイクル収入	117	124
その他	151	126
営業外収益合計	335	315
営業外費用		
支払利息	74	88
持分法による投資損失	4	6
その他	15	12
営業外費用合計	94	106
経常利益	1,224	1,268
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
店舗等閉鎖損失	34	14
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	13	0
固定資産除却損	24	18
減損損失	73	12
特別損失合計	149	45
税金等調整前四半期純利益	1,078	1,223
法人税、住民税及び事業税	259	406
法人税等調整額	△167	50
法人税等合計	92	456
四半期純利益	985	767
非支配株主に帰属する四半期純利益	63	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	921	705

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	985	767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	16
為替換算調整勘定	175	109
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	203	125
四半期包括利益	1,188	893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,114	819
非支配株主に係る四半期包括利益	74	73

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,078	1,223
減価償却費	743	814
減損損失	73	12
のれん償却額	24	21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	△39
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
店舗等閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△5	△2
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△177	△53
支払利息	74	88
持分法による投資損益 (△は益)	4	6
店舗等閉鎖損失	34	14
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
固定資産除却損	24	18
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△348	△216
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,160	△1,328
仕入債務の増減額 (△は減少)	92	82
その他	△700	△306
小計	△237	334
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△75	△88
法人税等の支払額	△601	△262
法人税等の還付額	48	231
営業活動によるキャッシュ・フロー	△861	220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,493	△927
無形固定資産の取得による支出	△734	△215
投資有価証券の売却による収入	70	—
差入保証金の差入による支出	△99	△110
差入保証金の回収による収入	126	69
その他	△17	△85
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,147	△1,269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,074	2,526
長期借入れによる収入	2,000	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,583	△1,491
リース債務の返済による支出	△176	△273
配当金の支払額	△395	△494
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,919	2,068
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,007	1,072
現金及び現金同等物の期首残高	8,203	5,544
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,195	6,616

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	43,399	2,919	1,922	48,242	325	48,568	—	48,568
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	43,399	2,919	1,922	48,242	325	48,568	—	48,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	—	7	246	253	△253	—
計	43,407	2,919	1,922	48,249	572	48,821	△253	48,568
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,433	253	382	2,070	△48	2,022	△797	1,224

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△797百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内ブック オフ事業	プレミアム サービス 事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	46,793	3,346	2,249	52,389	545	52,934	—	52,934
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	46,793	3,346	2,249	52,389	545	52,934	—	52,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	318	324	△324	—
計	46,799	3,346	2,249	52,394	864	53,259	△324	52,934
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,735	229	408	2,373	△100	2,272	△1,004	1,268

(注) 1. 「その他」の区分は、当社グループ直営のトレーディングカード専門店「Japan TCG Center」の運営、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,004百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、グループのマネジメント体制の変更に伴い、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「国内ブックオフ事業」、「プレミアムサービス事業」及び「海外事業」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。